

発達障害児者支援実践報告会

自閉症とはじめとする発達障害のある方への支援の実践や課題について、様々な支援機関からの実践報告があります。多くの支援者にご参加いただき、よりよい支援を提供していくためのヒントや工夫を見つけ、一緒に学び合う機会にしたいと考えています。

日時 会場

令和7年3月2日（日）9:50～15:30

プラサヴェルデ 会議室301・302

静岡県内の支援機関に勤務している支援者が対象です。

内容

午前の部：幼児期・児童期の支援の実際 10:00～12:00

「児童発達支援におけるASDのある未就園児へのアセスメントと多職種協働の実践」

発表 こども発達サポートセンターこどもど

親子同席での個別療育と多職種による小集団療育を実施する児童発達支援での、アセスメントと支援の経過について報告します。

「保護者の思いに寄り添い子どもの成長に向き合うかわせみ教室の実践」

発表 清水町教育支援センターかわせみ教室

ASDの特性のある不登校児童との出会いから中学校入学、登校を始めるまでの支援事例について報告します。

「中等度の知的障害を伴うASDの児童へのコミュニケーション支援」

発表 静岡県東部発達障害者支援センター

他者への意思伝達の難しさのある特別支援学校小学部の児童に対して行った、絵カードを使用したコミュニケーション支援の実践について報告します。

午後の部：青年期・成人期の支援の実際 13:30～15:30

「大学における発達障害学生への合理的配慮と支援」

発表 日本大学国際関係学部 学生課 学生支援室

大学での合理的配慮とはなにか。発達障害学生への卒業までの事例を中心に大学生活での困りごとやその対応について報告します。

「働きたくても働くことが難しい若者たちへの就労支援」

発表 富士市若者相談窓口 ココ★カラ

制度のはざまにいる働くことが難しい若者に対して、地域の人たちとの関わりを通じて働き続けられるようサポートをしている相談窓口の実践について報告します。

「生活介護事業所における評価に基づいた環境調整と関わり方の工夫」

発表 スタジオパレット

他害・儀式的な行動・物の配置へのこだわりやパターンの行動により活動や人との関わり方の難しさのある人に対して、特性の再確認を行い、支援や環境調整の見直しを図った事例について報告します。

お申し込みはこちらから▶

静岡県東部発達障害者支援センターホームページまたは、QRコードからお申込みください。
締め切り 令和7年2月25日（火）

※事前にお申込みいただいた方にご参加いただけます。当日受付は行っておりません。

